

平成 24 年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	I-2-2

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

※

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。
 ○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。(英数字及び図表を除く。)

(1)	モデル駆動型開発について
	モデル駆動型開発(以下、MDD: Model Driven Development)とは、UML(統一モデリング言語)によりソフトウェアを視覚的に記述したモデル図から、コードを自動的に生成する開発方法である。従来の開発ではコードが開発の中心であったが、MDDではモデル図が開発の中心になる。
(2)	MDD導入でのポイント
①	MDDの適用範囲:すべてをMDDで開発するのではなく適用範囲を絞って導入する。
②	表記ルールの策定:開発者と設計者の意思統一を図ること、設計者の属人性を排除するため、モデル図の表記ルールを作成し、モデル表記の統一性を図った。
(3)	MDD導入による効果
①	生産性の向上:コードの自動生成によるコーディング工数の削減だけでなく、コードの単純ミスによる手戻りの削減にも貢献する。
②	上流工程での品質確保:モデル図は、自然言語で記述されたドキュメントと比較して視覚的に内容が理解しやすいため、設計工程で品質を作りこむことが可能になる。
③	不具合対策時間の短縮
	モデル図とコードの対応が容易に確認でき、モデル図からは、視覚的に問題発生個所の原因が特定しやすいため、不具合対策時間が短縮される。